の画の年、

五.

画

に程

聴

きる

Sで

で

時

間に

に利

軽さ

にれ

気用及で

は

剰に視な 「取るに!!

足らない

視聴することで、

れ能」を意 とで、精 Rot」でし

た状

11月のテーマ | 読書

オ

大学出

ん版典が

四れず。

ツ

年る

版才

クタス

て

1465号

かにた高 な本は読 五. 中高 一四年度は約回生とその保護し、半数な -数を超 万二 者

らに、調めた 少あす率調しる。は香 は査加く トに こ人の〇 えな フ 、る世代でいことから た小 る 間 才 調 傾 査 る ると、スマ·総務省のない向も明らな 総向使結 こから、・ 用時 果 パに達し、年た い予想されまり い予想されまり が予想されまり が予想されまり から五は 査では 間 ートフ 令和に長 に に を 兀 和 なっ 六 い一増ほ日加 (生のみ) 年通信 オ年 読 てど読た て 時のた。 りない にず、保動向 間ス ま有向 がマさ

主体性を育む 読書力を身に着けよう

確毎使をわしい今知 様々な形で も 目 の 的 デジタート です。 てル れ読 目 主機 ま 体 器

した「オーディオブック」も多っ 、今後はますますスマートフォンを手 が配信されており、本を読む時間が、 人でも、移動中や作業中に本の内容に触 られるようになっています。 して知能の開発は日々めざましく進んで がり、今後はますますスマートフォンを手 せない生活になるでしょう。 かし、手持ち無沙汰にスマートのようになり、かし、手持ち無沙汰にスマートフォンを手 お ら 人 品 収 に 手 子 り 人 れ で が 録 、軽 書 、 T ス ォ ず 、 想像力を育み、さまざまな未まった文章を読むことは、思学習院大学教授の秋田喜代にその言葉通りの状態に陥っ Rot」を直訳すると「脳 でも、移動中や作業中に本の内容に触れてなり、 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 を開く契機になる」と述べています。 でも、移動中や作業中に本の内容に触れており、電が配信されており、本を読むました。さら が配信されており、本を読むによる明読を が配信されており、本を読むによる明読を が配信されており、本を読むによる明読を が配信されており、本を読むによる明読を と述べています。 軽書一を いが離 っし ズ やりする、そった。気にまうことがあります。気いう間に時間が過ぎ、当初に はないでしょうか。 する、そんな経験をし 腐れ」ですが、 ってしま 先述 すが、まさ たけばりんだけばれると、 11 ます。 ル もばか